政策３　みんなで取り組む快適なまちづくり

取組７　交通基盤の充実

取組の評価　**3.4　概ね順調**

＜取組7の基本方針＞
1 JR袋井駅舎及び周辺地区の整備
2 計画的な道路補修による長寿命化
3 幹線道路及び生活道路の計画的な整備
4 利便性の高い公共交通の実現

【取組の目的】 安全で円滑な道路網の整備と公共交通の確保を図り、だれもが快適に移動できる利便性の高い交通ネットワークを構築します。

『取組』に係る社会の動向・本市の現状（主な取組）

《社会の動向》 ◎山梨県笹子トンネルの天井板崩落事故（平成24年12月）を受け、国土交通省は道路施設の老朽化対策の推進を図っている。また、平成26年７月から市町村道等にある橋やトンネルを５年ごとに点検するよう自治体に義務付けた。◎焼津市では、事故抑止や災害時でも機能するラウンドアバウトの導入に向けた社会実験を行い、平成26年９月から正式導入している。また、県においても導入に向けた検討を進めている。◎人口減少や高齢化が進展する中、持続可能な地域公共交通網の形成を図るため、国土交通省は地域公共交通活性化・再生法を改正した。

《本市の現状》（主な取組） ◎袋井駅南方面からのアクセス性の向上、高齢者や障がいのある人など誰もが使いやすい施設とするため、平成26年11月の供用開始を目指して、袋井駅南北自由通路新設及び橋上駅舎化事業を推進している。
◎道路の安全を確保するため、計画的に舗装補修するとともに、維持管理・更新コストの増大が見込まれる橋梁について、袋井市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年３月策定）により修繕コストの縮減を図っている。
◎中東遠総合医療センターの開院（平成25年５月）にあわせて、路線バスや自主運行バスの新規路線構築やダイヤ改正を行った。また、浅羽東地区に加え、三川地区においても地域協働運行バスの本格運行を開始した。

『取組指標』の分析と評価結果

番号	指標名	項目	H24		H25	
1	要舗装修繕箇所の整備率【%】	目標値	52.9		62.5	
		実績値	41.1		48.5	
		達成率 / 伸び率	77.6	14.1	77.6	18.0
		評価	2		2	
2	「事業化準備制度」の事業実施数(幹線道路・生活道路)【事業】	目標値	27		29	
		実績値	33		44	
		達成率 / 伸び率	122.2	37.5	151.7	33.3
		評価	4		4	
3	道路整備10箇年計画道路の整備率【%】	目標値	50.5		50.7	
		実績値	50.5		50.7	
		達成率 / 伸び率	100.0	0.3	100.0	0.3
		評価	4		4	
		目標値				
		実績値				
		達成率 / 伸び率				
		評価				
		目標値				
		実績値				
		達成率 / 伸び率				
		評価				
		評価結果の平均値（A）			3.3	

≪評価基準≫
4：達成率 ≧ 100%・前年比伸び率 ≧ 0%　3：達成率 ≧ 100%・前年比伸び率 ＜ 0%
2：達成率 ＜ 100%・前年比伸び率 ≧ 0%　1：達成率 ＜ 100%・前年比伸び率 ＜ 0%

『取組』の有効性・必要性・緊急性の評価結果

評価項目	H25	備考欄
有効性 4．想定どおりの成果 3．概ね想定どおりの成果 2．一定の成果 1．想定した成果なし	4	◎　袋井駅南北自由通路・橋上駅舎化事業をはじめとした駅周辺整備事業は、駅へのアクセス性の向上やバリアフリー化を図るだけでなく、駅南側の都市的土地利用を促進させるなど、中心核の拠点性を高め、魅力ある都心地域の形成に資するものである。 ◎　全国的に公共施設やインフラの維持管理費の増大や更新時期の集中が懸念されており、事後保全から予防保全型管理への転換により、安全性の向上と施設の長寿命化、維持管理・更新コストの縮減を図る長寿命化計画が非常に有効である。
必要性 4．極めて高まっている 3．高まっている 2．一定程度高まっている 1．高まっていない	4	◎　袋井駅南北自由通路及び橋上駅舎の平成26年11月の供用開始にあわせて、駅を中心とした地域の活性化を図り、中東遠の中軸都市にふさわしい魅力ある都心地域を形成していく必要がある。 ◎　橋梁など道路施設の老朽化や更新時期の集中が見込まれているため、橋梁長寿命化修繕計画等により、限られた財源を効率的に使い、安全管理を適正に行っていくことが必要である。 ◎　人口減少を見据えたまちづくりや環境に優しいまちづくりを進めるため、自動車だけでなく、徒歩、自転車、公共交通を組み合わせた最適な交通体系を検討していく必要がある。
緊急性 4．極めて高まっている 3．高まっている 2．一定程度高まっている 1．高まっていない	2	◎　袋井駅南北自由通路及び橋上駅舎の平成26年11月の供用開始とともに、駅南側アクセス道路も供用開始されることから、袋井市袋井駅南都市拠点土地区画整理事業などの土地利用を促進していく。 ◎　「みつかわ夢の丘公園」（市営墓地）のアクセス道路、自動車・自転車等の交通量が多く安全性の低い道路、密集市街地等の防災・安全面の改善が必要になる道路について、整備していく必要がある。
評価結果の平均値（C）	3.3	

≪指標に影響を与えた主な取組、要因≫
◎指標１について、緊急度や重要度を見て、限られた予算の中で効率的に進めている。
◎その他の指標について、計画的に事業を推進し、目標値を達成した。

『主要事業』に係る事業評価表の評価結果

番号	主要事業名	事業評価表の評価結果 有効性（4．極めて有効 3．有効 2．一部有効でない 1．有効でない）	効率性（4．極めて効率的 3．効率的 2．一部効率的でない 1．効率的でない）	廃止の影響（4．極めて影響あり 3．影響あり 2．どちらでもない 1．なし又は代替手法あり）
1	（都）袋井駅南北自由通路新設事業	4	3	4
2	（都）南口駅前線（駅広）改築事業	3	3	4
3	（都）西通新池線（第三工区）改築事業	3	3	4
4	道路橋梁維持管理事業	3	3	3
5	道路舗装補修事業	3	3	3
6	橋梁の長寿命化修繕事業	3	3	3
7	広域幹線道路整備促進事業	3	3	3
8	（都）上久能山科上線（第二工区）改築事業	3	3	4
9	（都）袋井駅森線改築事業	4	4	4
10	（都）山梨中央通り線改築事業	4	4	4
11	袋井市上山梨沿道整備街路事業 ※再掲（政策３取組６）	4	4	4
12	（都）諸井山の手線改築事業	3	3	3
13	市道東同笠油山線改築事業（第一工区）	4	3	4
14	市道湊中新田線改築事業	4	3	4
15	市道湊川井線（諸井橋）改築事業	4	3	4
16	市道太郎兵衛新道国本線改築事業（冠水対策）	4	3	4
17	市道大谷幕ヶ谷線改築事業	4	2	4
18	市道小野田田原線改築事業	4	3	3
19	協働によるみちづくり事業	4	4	4
20	３級市道整備事業	4	3	4
21	「クリーンセンター等関連」３級市道整備事業	4	3	4
22	「サンサーラいごおか関連」３級市道整備事業	3	3	4
23	生活バス路線確保対策事業	4	4	4
24	天竜浜名湖鉄道運営支援事業	2	3	4
25	自主運行バス運行事業	2	3	4
評価結果の平均値（B）	3.5	3.5	3.2	3.8

『取組』の総合評価と今後の展開方向

取組の評価

3.4	概ね順調	各評価結果の平均値	取組指標の評価結果（A）	有効性等の評価結果（C）	主要事業の評価結果（B）
			3.3	3.3	3.5

≪ 評価基準 ≫
4 ～ 3.6：順調　3.5 ～ 3：概ね順調
2.9 ～ 2 ：一部に改善を要する　1.9 ～ 1 ：全体的に改善を要する

番号	取組の基本方針	H24	H25	今後の展開方向
1	ＪＲ袋井駅舎及び周辺地区の整備	↗	→	袋井駅南北自由通路新設及び橋上駅舎化事業や南口駅前線（駅広）改築事業について、計画どおり推進していく。また、平成26年11月に供用開始する自由通路や橋上駅舎にあわせて、歩いて楽しいまちなかプロジェクトや駅南土地区画整理の事業化などの推進を図っていく。
2	計画的な道路補修による長寿命化	↗	→	橋梁長寿命化修繕計画等により、橋梁など道路施設の適正な安全管理と維持管理・修繕コストの縮減を図っていく。また、インフラ設備について、公共施設とあわせて長期的にマネジメントしていくための検討を行っていく必要がある。
3	幹線道路及び生活道路の計画的な整備	→	→	道路ネットワークの形成に向けて、幹線道路の整備を効率的にすすめるとともに、生活道路について協働によるみちづくり事業をもとに、地域住民との協働により道路整備を計画していく。また、ラウンドアバウト（円形交差点）の導入に向けて検討を進める。
4	利便性の高い公共交通の実現	→	→	自主運行バスについて、利用状況を確認し、必要に応じて運行の見直しを検討していく。また、全国的に人口減少、高齢化を迎えた中で、地域の状況に合わせた最適な公共交通体系を検討していく。

≪ 展開方向 ≫　拡充（順調）　拡充（改善必要）　継続推進　縮小